

株式の状況（平成23年9月30日現在）

発行可能株式総数…………… 320,000,000 株
 発行済株式の総数…………… 68,019,379 株
 株主数…………… 12,635 名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	千株	%
みずほ信託銀行退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託銀行	4,592	6.75
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	3,813	5.60
株式会社森精機製作所	2,200	3.23
第一生命保険株式会社	2,100	3.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	2,070	3.04
株式会社三井住友銀行	1,516	2.22
株式会社北越銀行	1,484	2.18
ツガミ取引先持株会	1,261	1.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,234	1.81
エスアイエックス エスアイエス エルティエディー	1,000	1.47

- （注）1．株数は単位未満を切り捨て、出資比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 2．みずほ信託銀行退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数4,592千株は、㈱東京精密が同行に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は㈱東京精密が留保しております。
 3．当社は自己株式を1,686千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

会社の概要

商号 株式会社ツガミ
 設立 昭和12年3月
 本店所在地 東京都中央区日本橋富沢町12番20号
 （10月3日よりの新住所）
 資本金 10,599百万円
 従業員数 515名
 役員状況
 代表取締役社長執行役員 西嶋尚生
 代表取締役専務執行役員 新嶋敏治
 取締役専務執行役員 田内清
 取締役常務執行役員 三浦由博
 ” 唐東雷
 社外取締役 中川威雄
 ” 島田邦雄
 常勤監査役 本間利雄
 社外監査役 宮田芳文
 ” 玉井宏明
 ” 木村龍一

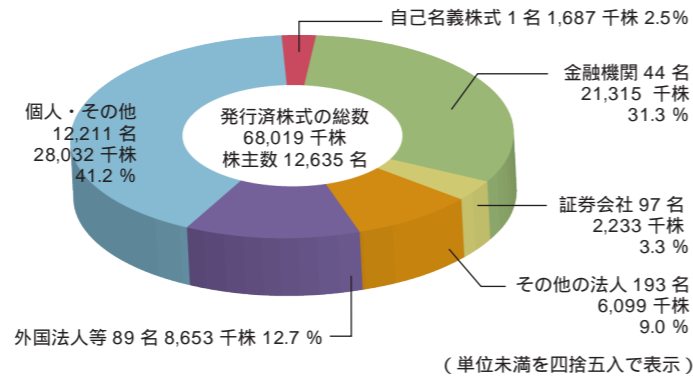
本社・工場 本社 東京都中央区日本橋富沢町12番20号
 長岡工場 新潟県長岡市東蔵王1丁目1番1号
 信州工場 長野県佐久市中込3600番地
 高見工場 新潟県長岡市東高見2丁目1番2
 新潟工場 新潟県新潟市東区桃山町2丁目132番地

営業拠点 東日本営業部（東京）
 中部営業部（名古屋）
 西日本営業部（大阪）

ツガミグループ

株式会社ツガミマシナリー
 株式会社ツガミ総合サービス
 株式会社ツガミプレジジョン
 津上精密机床（浙江）有限公司（中国）
 浙江品川精密機械有限公司（中国）
 TSUGAMI (THAI) CO., LTD.（タイ）
 TSUGAMI GmbH（ドイツ）
 TSUGAMI KOREA Co.,Ltd（韓国）

所有者別株式分布状況



株式メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 剰余金の配当の基準 期末配当の基準日は、毎年3月31日
 なお、中間配当を実施するときの中間配当の基準日は、毎年9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同連絡先 郵便番号 137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711（通話料無料）
 公告の方法 電子公告により、当社ホームページ（http://www.tsugami.co.jp/）に掲載いたします。
 なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、官報に掲載して行います。
 上場金融商品取引所 東京証券取引所

お知らせ

- 株主さまのご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求、配当金振込指定などを行う場合の受付窓口は、原則として口座を開設されている証券会社等になります。郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金に関するご照会および株式事務に関する一般的なお問合せは、三菱UFJ信託銀行株式会社で承ります。
- 証券会社等の口座ではなく特別口座に記録された株式に関する各種手続きは、三菱UFJ信託銀行株式会社で受付いたします。
- 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社等の口座に振替える必要がございます。

株主の皆様へ

第109期中間報告書 平成23年4月1日～平成23年9月30日



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第109期第2四半期の営業の概要等につきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、東日本大震災により落ち込んだ生産活動の持ち直しがあった一方、歴史的な円高による輸出の鈍化に加え、欧州・米国の経済不安の影響を受け、厳しい状況で推移いたしました。

工作機械業界におきましても、内需は緩やかながら回復してきており、外需は中国等アジア新興国向けに好調に推移してまいりましたが、後半からの円高の急伸と外需を牽引してきた中国の金融引締めの影響から、先行き不透明感が出てまいりました。

このような状況の下で、当社グループは中国生産の強化を図るとともに生産コストの低減に努めてまいりましたが、急激な円高影響を回避するまでには至りませんでした。

この結果、売上高は、16,664百万円（前年同四半期比17.8%減）、営業利益は1,397百万円（前年同四半期比44.0%減）、経常利益は1,221百万円（前年同四半期比47.9%減）、四半期純利益は873百万円（前年同四半期比57.2%減）となりました。

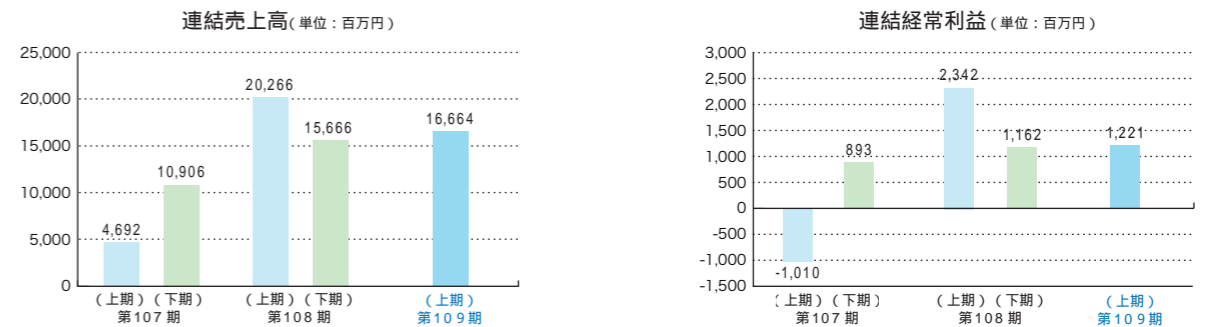
中間配当につきましては、当初予想のとおり、1株につき5円の配当とさせていただきます。なお、期末配当金につきましても5円（年間10円）を予定しております。今後の配当につきましては、業績運動を基本としつつ企業体質の強化を図りながら安定配当を続けてまいりたいと考えております。

また、引き続き売上の拡大と生産の効率化・経費削減に努め、安定的な業績の伸展を図るとともに、お客様のニーズに合致した新製品の提供とサービスの充実に努め、常に顧客満足度の向上を目指し、お客様に信頼され必要とされる製品を提供できる経営に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月
 取締役 社長執行役員 西嶋尚生

連結業績の推移



営業成績および財産の状況の推移

区分	第107期		第108期		第109期
	第2四半期（累計）	通期	第2四半期（累計）	通期	第2四半期（累計）
売上高（百万円）	4,692	15,598	20,266	35,932	16,664
経常利益（百万円）	1,010	117	2,342	3,504	1,221
当期（四半期）純利益（百万円）	1,094	244	2,039	2,837	873
1株当たり当期（四半期）利益（円）	16.31	3.65	30.58	42.72	13.22
総資産（百万円）	23,398	31,147	37,763	35,860	38,384
純資産（百万円）	18,669	19,882	21,125	22,122	22,008
1株当たり純資産（円）	275.93	294.29	314.21	331.39	327.64

（注）単位未満を切り捨てて表示しております。

